

さくらdeファミリー

提案型連携事業決定！

提案型連携事業は、市民活動センターに集う市民活動団体同士が連携し、事業や活動を通して、お互いに支え合うことで他の団体に興味を持ち、理解することによりそれぞれの得意分野を活かした、よりよい活動が展開されることを目的として実施します。応募した団体が6月11日の運営協議会でプレゼンテーションし、審査・選考した結果、次の事業に決定しました。

●家庭教育力・地域の教育力 向上研修会 ・6月29日(月) 13:00～ (中学校PTA対象、各学校にて開催) ・6月30日(火) 10:00～ 市民活動センター 第1研修室 ★諫早こどもの城館長、池田 尚氏を 招いての意見交換会 主催：青少年育成廿日市市民会議 連携：廿日市PTA連合会	●くじまの森 ガキ大将プロジェクト「川の学校」 ・8月22日(土) 10:00～ 大蔵川(玖島川) ★森と川のつながりをテーマに した体験学習 主催：くじまの森 連携：玖島コミュニティ推進協議会 ：佐伯公衆衛生推進協議会	●楽しく子育て「おひさま広場」 ・9月27日(日) 10:00～12:00 市民活動センター ★幼児とその家族対象の展示・体験・ 相談会 主催：広島友の会(宮島方面)(西方面) 連携：すこやか家族広場「ほっぺ」 ：B&C ｸﾞﾙｰﾌﾟ廿日市「おひさま」
---	--	--

地域交流事業 夏休み宿題解決工作教室

- ◆日時：7月31日(金)
9:30～12:30
 - ◆場所：市民活動センター
 - ◆定員：30名(先着順)
 - ◆内容：牛乳パックで帽子作り
：健康吹き矢体験
 - ◆参加費：500円(軽食付き)
- ※当日のお手伝いをしてくださるボランティアスタッフを募集します。詳しくは1階受付まで。



3階ワーキングスペースについて

事務作業など、登録団体であれば自由に利用できるスペースです。利用する場合は、周囲に気を配り、大きな音を出さないなど、迷惑にならないよう心がけてください。



夏季休館日

8月14日(金)～8月17日(月)

書籍入りました！

交流スペース、助成金コーナーに
それぞれ開架中！



ソシオ・マネジメント
社会実業家100人インタビュー
発行：IHOE
[人と組織と地球のための国際研究所]

社会の課題を解決するための新たなビジネスモデルを創り出した社会実業家100人に経緯や体験談をインタビュー。そのほか最新の取り組み事例も満載！



NPO・市民活動のための
助成金応募ガイド 2015
発行：公益財団法人 助成財団センター

日本全国の助成財団が今年度公募する情報を分野別に網羅！また、助成に関する基本情報や応募書類の書き方など、お役立ち情報も充実。あなたの団体に合った助成金情報がきっと見つかるかも？！

地域通信

季節限定
バージョン

廿日市市全域 ～ ホタル★目撃情報 ～



一時見かけることがなくなっていたホタル。近年、環境への配慮が進み、あちこちで観られるようになってきています。そこで「あそこにおったよ」「こちによおけ出とるで～」というみなさまからの目撃情報を集めてみよう、ということになり、さっそくセンターロビーに市内全域の地図を貼りだして、目撃した場所を記入してもらっています。6月末現在、こんな感じになっています。来年はもっとたくさんのホタルが飛び交う、そんなまちになっていたらステキですね(〇〇)



★ 情報部インフォメーション ★



たのもさんに一緒に参加しましょう！！

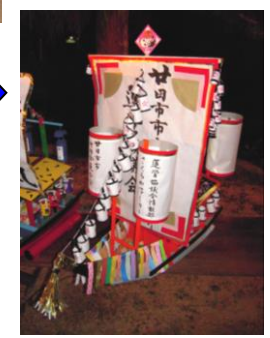
宮島の伝統行事「たのもさん」に今年も参加します。今年は各団体で「たのも船」を作成し、一緒に流しに行きませんか。個性豊かな「たのも船」が出来るのを楽しみにしています。ぜひ参加してください。

- 作業日：8月13日(木)、8月20日(木)、8月27日(木)
時 間：いずれも13時～
場 所：市民活動センター 1階 会議室
参加費：1,500円程度(船1艘の購入代金)
行事日程：9月13日(日)18:30/宮島(島内)桟橋集合
19時より四宮神社で神事、その後大島居周辺(厳島神社)より海へ流します。

※「たのもさん」とは五穀豊穡を祈願して「たのも船」と呼ばれる船を作り海に流す行事です。



この原型を購入し
色とりどりの飾付け
をします



ネットワーク団体からの

お知らせコーナー

けん玉ワールドカップ

7月18日(土)・19日(日)
スポーツセンターサンチェリー



昨年に引き続き2回目のワールドカップ。世界レベルの選手が廿日市に大集合、華麗な技を競い合います。

戦後70周年事業 はつかいち平和の祭典 はつかいち平和コンサート

7月25日(土) 開演14:30
はつかいち文化ホール さくらびあ 大ホール

※詳細は市民センター等のチラシをご覧ください

・・・多くのネットワーク団体が協力しています・・・

****お問い合わせ先**** 廿日市市民活動センター
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>
f <https://www.facebook.com/shiminkatsudo.hatsukaichi>

****ネットワーク現在の状況****
(平成27年6月末現在)
登録団体 **169** 団体



ネットワーク団体紹介

しりあっChaO



雨の多いこの季節、気分が憂鬱になりがちですね。また、水害や土砂災害なども心配です。
 今回ご紹介するグループは、とても心強い活動をしている皆さんです。こういった方々を中心に、
 地域力を結集し安心・安全な生活ができるよう、みんなでつながっていきましょう。

廿日市心の絆ネットワーク連絡会「市民後見」



毎月の定例会での研修風景



市民後見人養成研修廿日市会場

私たち一般市民が、「廿日市心の絆ネットワーク連絡会」の設立（活動）目的に沿って日々研鑽をしている『成年後見制度』は、認知症、知的障害、精神障害などの理由で判断能力が十分でない人が財産管理や日常生活等での契約を行うときに、判断がむずかしく不利益をこうむったり悪質商法の被害者となることを防ぎ、権利と財産を守り、支援する制度です。

たとえば、一人暮らしの老人が悪質な訪問販売員に騙されて高額な商品を買わされてしまうなどといったことを最近よく耳にしますが、こういった場合も成年後見制度を上手に利用することによって被害を防ぐことができる場合があります。

また、成年後見制度は精神上的の障害により判断能力が十分でない方の保護を図りつつ自己決定権の尊重、残存能力の活用、ノーマライゼーション（障害のある人も家庭や地域で通常の生活をする事ができるような社会を作るという理念）の理念をその趣旨としています。

家庭裁判所に選任された成年後見人、保佐人又は補助人が、本人に代わって契約などを行ったり、本人のみで行った不利益な契約を取り消すなど、本人を援助、保護します。

地元廿日市での活動はこれからですが、皆様のお役に立てることがありましたらお手伝いいたしますのでお気軽にご相談ください。

さらに、当会に参加して一緒に学んでみようと思われる方、お声掛けお待ちいたしております。

問合せ：０８０－１９４０－０５７０【代表：森川】

～7colors なないろ～

私たちは、７人編成のサキソフォンアンサンブルチームです。「みんなと一緒に音楽を楽しみたい。」「大好きなサクソを通して、赤ちゃんからお年寄りまで、直に気軽に音楽に触れる機会をたくさん作りたい。」という思いを持ち集まりました。

家事や子育て、仕事などの忙しい合間を縫っての活動ですが、演奏技術の向上はもちろん、音楽の素晴らしさを実感すること、自分たちだけでなく聴いてくださる方々にも音楽を楽しんでいただけること、さらには観ても楽しいステージ演出を心がけて取り組んでいます。演奏する季節や年齢層によって、流行曲、童謡、アニメソング、演歌などその時々で曲目を替え、多様なニーズに対応できるように工夫しています。

保育園や子育てサークル、福祉施設などへの訪問演奏、地域のお祭りなどにも出演させていただき、地域の人々に親しまれるような活動を行っていきたくと考えています。ボランティアで訪問演奏を行っていますのでぜひお気軽にお問い合わせください。

ジメジメしたこの季節、“なないろ”の演奏で気分もリフレッシュ！



問合せ：sax7colors-nanairo@yahoo.co.jp【代表：森】

廿日市地域自主防災連絡協議会

各地区自主防災代表の、熱意を持った方々のご尽力で、昨年１０月に発足致しました。廿日市も平成２３年各地区に自主防災組織は出来ましたが、以前から活躍の地区、新しく出来た処では、取組みに大きな差があります。そうした中、昨年８月に広島市安佐地区の「土砂災害」の惨状を目の当たりにしました。その後の報道で、夫々の地区における町内会・自主防災会の対応の差が、被害の大きさの差に繋がったとの指摘がありました。其の事から地形的な差も有りますが、基本的な防災の知識や考え方など、共通認識の必要性を感じました。

実際に防災に携わる各地区の防災組織代表が集まり、実情の問題点等話しながら、お互いに助け合い、認識や技能を高め「自分達の命は、自分達で守る」をモットーに、最終目標の災害時死亡者ゼロを目指したいと考えています。

急いで立ち上げたものですから、不備な点も多く、会則や事業等につきましては、今後柔軟に対応を致したいと存じます。

防災・減災は、住民の皆様にご協力を頂かなければなりません。

この会の趣旨をご理解頂き、ご協力、ご支援を賜りたくお願い申し上げます。

問合せ：０９０－８７１９－５４１４【会長：筒井 康之】

廿日市市防災士会

昨年８月の広島土砂災害を受けて、地元に着した活動をする必要がある事を実感し、今年４月に正式に発足しました。日本防災士機構認定試験に合格した廿日市市在住の防災士で構成し、現在会員は２８名です。廿日市市の支援で防災士資格を取得された方（約５０名）や、防災士資格を取得されている特定郵便局長（８名）、大型スーパー店長に、一緒に活動することをお願いしているところです。

災害発生時の被害を少しでも減らすための活動をはじめとし、災害を未然に防ぐための活動や地域自主防災会設立・運営への助言を行っています。また、災害現場での避難所開設や復旧活動を行えるよう日々研鑽に努めています。

今後は、廿日市市危機管理課・地域政策課や廿日市市社会福祉協議会の災害支援ボランティアネットワークとも連携し、廿日市市全体の防災・減災活動、更に災害発生時の救援・復旧活動に取り組んでいきたいと考えています。

廿日市市に在住、または勤められている防災士の方、ぜひ下記にご連絡の上、ご参加をお願いいたします。

問合せ：０９０－３６３０－７７７８

e-mail：yoshitak@h.do-up.com【会長：藤野 善武】

昨年度に引き続き我が町の歴史を紹介するコーナーを掲載します。今年度は大野で活動中のNPO法人おおの風にご協力いただき、大野地域の歴史を紹介していきます。

記事協力 NPO 法人 おおの風



明治12年ごろ、新国道ができた時点での絵図ですが川の流れに注目してください

大野・今昔物語

永慶寺川はむかしは大野中央を流れていました。現在、河川改修が進む永慶寺川ですが、今の姿になる前に二度も大きく流路が変わっています。

一度目は、安永七年（一七七八年）の大洪水の影響で、今の太田中央あたりを流れていたものが、下の浜寄りにかわりました。今も古川の字が残っています。

二度目は、明治三十九年（一九〇六年）耕地整理により、今の太田市民センターの篠津付近の川筋を中央部から物見山側に移設されました。沖積地の湿田で裏作ができなかったところを良田に変える大事業で、広島県下の二番目の事業でした。

その後、大正二年（一九一三年）には、郷桑原に鎮座していた大頭神社が、囲まれた田畑の匂いを避けるように、毛保川の谷奥の妹背の滝の下に現在地に遷座することになりました。